

## 市長が選ぶ2020松阪市10大ニュース

### 1. (2月) 鎌田中学校新校舎完成

新校舎の内装の一部には、地元松阪産のスギやヒノキが使われました。1階には、地域交流センターが設置され、学校と地域住民の交流の場として利用されています。

### 2. (3月) 松阪市公式アプリ「松阪ナビ」サービス開始

ゴミ回収日などの情報をプッシュ通知でお知らせする機能や市役所窓口の混雑情報等が確認できる機能があり、市政情報をいち早く取得できるサービスを開始しました。

### 3. (3月) 土性沙羅選手東京オリンピック出場内定

松阪市出身で、リオデジャネイロオリンピック金メダリストの土性沙羅選手（レスリング 68 キロ級）が東京オリンピック出場に内定しました。

### 4. (3月～) 市内小中学校が臨時休業、松阪の三大まつりなどイベントが相次いで中止

新型コロナの影響により、3月初旬～5月中旬にかけて、市内小中学校が臨時休業となりました。同じく、初午大祭、松阪祇園祭り、氏郷まつりなどさまざまな地域行事が相次いで中止となりました。また、県内唯一のフルマラソンの大会「みえ松阪マラソン 2020」が一年後の令和3年12月19日に延期されることになりました。

### 5. (7月) ペット同行避難所を指定

県内で初めて災害時にペットを連れて避難できるペット同行避難所としてさんぎんアリーナ（松阪市総合体育館）を指定しました。

### 6. (7月) 成年後見センター開設

認知症など判断能力が不十分な方が、不利益を受けることがないように、相談業務や支援を行う、成年後見センターを開設しました。

### 7. (9月) 春日保育園新園舎完成

地元松阪産の木材が使われ、明るく木のぬくもりに囲まれた園舎が完成しました。旧園舎では130人だった定員が、新園舎では200人に増えることとなります。

### 8. (9月) 松阪市版エンディングノート「もめんノート」配布開始

松阪市版エンディングノート「もめんノート」が完成し、9月から配布を開始しました。ノートの名前には「松阪もめん」と「揉めない」という意味が込められています。

### 9. (9月) コロナに負けるな！松阪みんなの商品券販売

新型コロナウイルス感染症の経済対策として、プレミアム付商品券の販売を開始しました。プレミアム率は100%で、10,000円分の商品券を5,000円で販売しています。

### 10. (10月) 県内初！「書かない窓口」を始めました！

誰もが利用しやすい市役所をめざした「窓口改革」の一環で、『書かない窓口』のサービスを始めました。